科目名	講 師		単位数	1
呼吸器疾病と治療		中川 知己	時間数	30

科目目的 ： 呼吸器系疾患とその健康障害からの回復過程を学ぶ。

科目目標 ： 呼吸器系の病態、検査、治療を理解できる。

講義回数	学 習 内 容	
14回	1. 呼吸器系の代表的な 疾患・病状の病態生理	1)感染症 2)間質性肺炎 3)気道疾患 (気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、CO2ナルコーシス) 4)肺血栓塞栓症 5)呼吸不全 6)呼吸調整疾患(過換気症候群 睡眠時無呼吸症候群) 7)肺腫瘍 8)胸膜・縦隔・横隔膜の疾患
	2. 呼吸器系の検査・治療・処置	1)喀痰検査 2)肺機能検査 3)動脈血ガス分析の正常性 4)呼吸音の聴取 5)気管支鏡・造影検査 6)胸腔穿刺検査 7)手術 (1)肺切除術 (2)胸腔鏡下手術 8)吸入療法 9)胸腔ドレナージの管理 10)喘息発作時の治療
評価	筆記試験	
テキスト	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[2] 呼吸器(医学書院)	
備考		

科目名	講 師		単位数	1
消化器疾病と治療		白鳥 泰正 他	時間数	30

科目目的 ： 消化器系疾患とその健康障害からの回復過程を学ぶ。

科目目標 ： 消化器系の病態、検査、治療を理解できる。

講義回数	学 習 内 容	
14回	1. 消化器系の代表的な 疾患・症状の病態生理 消化器内科系	1）食道疾患（食道癌、逆流性食道炎） 2）胃・十二指腸疾患（胃炎、胃・十二指腸潰瘍、胃がん） 3）腸および腹膜疾患 (1)大腸癌 (2)潰瘍性大腸炎 (3)クローン病 (4)イレウス (5)消化管憩室 (6)腸管ポリープ (7)結腸がん (8)直腸がん (9)肛門疾患 (10)虫垂炎 4）肝臓・胆嚢疾患 (1)肝炎 (2)肝癌 (3)肝硬変症 (4)食道静脈瘤 (5)門脈圧亢進症 (6)胆石症 (7)胆嚢炎および胆管炎 (8)胆管がん (9)胆嚢がん (10)胆嚢ポリープ 5）膵臓疾患 (1)膵炎 (2)膵臓がん 6）急性腹症
	2. 消化器系の検査・処置・治療	1）診断と診察 2）検査 (1)放射線検査 (2)内視鏡検査 (3)内視鏡的逆行性胆管膵管造影 (4)肝生検 (5)超音波検査 3）治療 (1)薬物療法（インターフェロン療法） (2)肝庇護療法 (3)食事療法(経腸栄養、経静脈栄養法) (4)食道静脈瘤硬化療法 4）手術療法 (1)食道切除術 (2)胃切除術 (3)大腸切除術 (4)膵切除術 (5)胆嚢切除術 (6)腹腔鏡視下手術 (7)人工肛門造設術 (8)手術後ドレナージ (9)胆道・胆嚢ドレナージ
評価	筆記試験	
テキスト	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[5] 消化器(医学書院)	
備考		

科目名	講 師	久保 隆史 他	単位数	1
循環器疾病と治療			時間数	30

科目目的 ： 循環器系疾患とその健康障害からの回復過程を学ぶ。

科目目標 ： 循環器系の病態・検査・治療を理解できる。

講義回数	学 習 内 容	
14回	1. 循環器系の代表的な 疾患・症状の病態生理	1)虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞) 2)心不全 3)高血圧・低血圧 4)不整脈 5)弁膜症 6)先天性心疾患(動脈管開存、心房・心室中隔欠損、ファロー四徴症) 7)動脈系疾患(大動脈瘤 大動脈解離) 8)静脈系疾患(深部静脈血栓症 肺塞栓症) 9)リンパ系疾患 10)高脂血症 11)症状(胸痛、動悸、呼吸困難、浮腫、チアノーゼ、ショック)
	2. 循環器系の検査・治療・処置	1)心臓カテーテル 2)心血管造影 3)経皮的冠動脈形成術 4)ペースメーカー植込み術 5)開心術 6)薬物療法 7)心電図
評価	筆記試験	
テキスト	系統看護学講座 専門分野 成人看護学「3」 循環器(医学書院)	
備考		

科目名	講　師	小林弘、青木琢也、石橋令臣、田中朝志、宇留間友宣、原田芳巳他	単位数	1
血液・ｱﾚﾙｷﾞｰ疾病と治療			時間数	30

科目目的 ： 血液系及びアレルギー系疾患とその健康障害からの回復過程を学ぶ。

科目目標 ： 血液及びアレルギー系の病態、検査、治療を理解できる。

講義回数	学　習　内　容	
	1. 血液系の代表的な疾患・症状の病態生理	1）赤血球の疾患 2）白血球の疾患（白血病、白血球の異常） 3）リンパ網内系疾患（伝染性単核球血症、悪性リンパ腫、 AIDS） 4）異常タンパク血症（多発性骨髄腫、アミロイドーシス） 5）出血性疾患（血友病、DIC、特発性血小板減少症）
	2. 血液・造血器及び免疫系の検査・治療・処置	1）検査（末梢血検査、骨髄穿刺・生検、出血傾向） 2）血液型と輸血 3）造血器腫瘍の分類と治療 (1)化学療法　(2)造血因子　(3)造血幹細胞移植 (4)分化誘導療法　(5)分子標的療法　(6)遺伝子治療 (7)感染症対策　(8)合併する出血と対策
	3. アレルギー・膠原病・感染症の代表的な疾患・症状の病態生理	1）薬物アレルギー・アナフィラキシーショック 2）膠原病（関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、全身性硬化症、シェーグレン症候群、 ベーチェット病） 3）感染症（菌血症・敗血症、特殊な感染症、輸入感染症）
	4. アレルギー・膠原病・感染症の検査・治療・処置	1）アレルギー検査（好酸球数、IgE、アレルゲンの固定） 2）アレルギー治療（薬物療法、減感作療法） 3）膠原病の検査（一般検査、免疫学的検査） 4)膠原病の治療（一般検査、薬物療法、その他の治療法） 5)感染症の検査（感染症の診断） 6）感染症の治療と予防（治療と化学療法、血清療法、予防接種）
評価	筆記試験	
テキスト	系統看護学講座　成人看護学[4]血液・造血器（医学書院） 系統看護学講座　成人看護学[11]アレルギー膠原病感染症（医学書院）	
備考		

科目名	講 師		単位数	1
脳・中枢神経疾病と治療		大塚 邦紀 田口 丈士	時間数	30

科目目的 :脳・中枢神経系の疾病をもつ人のアセスメントに必要な基礎的知識を理解する。

科目目標 :脳・中枢神経系の主な疾病の病態、診断、治療の基礎的知識を理解できる。

講義回数	学 習 内 容	
1～10回	1. 主な症状とその病態生理	1)主な症状(意識障害、高次脳機能障害、運動機能障害、 感覚機能障害、 反射性運動の障害、 頭蓋内圧亢進、髄膜刺激症状)
	2. 脳神経系の検査・治療・処置	1)神経学的検査 2)画像診断 3)補助的検査法 (1)髄液検査 (2)脳血管撮影 (3)脳波検査 4)内科的治療 5)外科的治療 (1)開頭手術 (2)脳血管内手術 (3)シャント術
	3. 代表的な疾患の理解	1)脳血管障害 クモ膜下出血、脳内出血、脳梗塞 2)脳腫瘍 3)頭部外傷 4)感染症(脳炎・髄膜炎) 5)水頭症 6)てんかん
11～14回	4. 神経難病	1)脊髄小脳変性症 2)ギランバレー症候群 3)筋ジストロフィー 4)パーキンソン病 5)筋委縮性側索硬化症
評価	筆記試験	
テキスト	系統看護学講座 成人看護学〔7〕脳・神経 (医学書院)	
備考		

科目名	講師	吉田 明博 内田 貴大 永野敦 橋本剛	単位数	1
内分泌・腎・泌尿器疾病と治療			時間数	30

科目目的 ： 内分泌・代謝系及び腎・泌尿器系疾患とその健康障害からの回復過程を学ぶ。

科目目標 ： 内分泌・代謝系及び腎・泌尿器系の病態、検査、治療を理解できる。

講義回数	学習内容	
8回	1. 内分泌・代謝系の代表的な	1)内分泌系 (1)視床下部の疾患(クッシング病、尿崩症) (2)甲状腺疾患(橋本病 バセドー病 甲状腺腫瘍) (3)副腎疾患(クッシング症候群 褐色細胞腫) 2)代謝系 (1)糖尿病 (2)脂質異常症 (3)肥満症とメタボリックシンドローム (4)尿酸代謝異常
	2. 内分泌・代謝系の検査・治療・処置	1)内分泌系 (1)ホルモン血中・尿中濃度 (2)ホルモン補充療法・抗ホルモン療法 (3)甲状腺触診法 (4)甲状腺切除術・脳下垂体切除術 2)代謝系 (1)血糖・尿糖検査および糖負荷試験 (2)神経学的所見 (3)食事療法・運動療法・薬物療法
4回	3. 腎臓系の代表的な疾患	1)腎不全 2)糸球体腎炎
	4. 腎臓系の検査・治療・処置	3)ネフローゼ症候群 4)全身性エリテマトーデス 1)尿検査 2)腎機能検査 3)腎生検 4)透析療法 5)腎移植
2回	5. 泌尿器系の代表的な疾患・症状の病態生理	1)前立腺肥大 2)尿路損傷 3)尿路結石 4)尿路・性器腫瘍(膀胱腫瘍、前立腺がん等) 5)尿路感染症
	6. 泌尿器系の検査・治療・処置	1)X線撮影 2)超音波検査 3)膀胱鏡 4)生検
評価	筆記試験	
テキスト	系統看護学講座 成人看護学[6]内分泌・代謝(医学書院) 系統看護学講座 成人看護学[8]腎・泌尿器(医学書院)	
備考		

科目名	講 師		単位数	1
運動器疾病と治療		小山 尊士 原島 朗	時間数	30

科目目的 ： 1. 運動器系を持つ人のアセスメントに必要な基礎的知識を理解する。
2. リハビリテーションの特徴を理解し、看護に必要な基礎的知識を学ぶ。

科目目標 ： 1. 運動器系の代表的な疾病の病態、診断、治療の基礎的知識を理解できる。
2. リハビリテーションの概念と方法について理解できる。

講義回数	学 習 内 容	
1～10回	1. 運動器の構造と機能	1)骨
		2)関節
		3)神経と筋肉
		4)腱と靭帯
	2. 運動器系の代表的な疾患・症状の病態生理	1)骨折
		2)脱臼・捻挫
		3)骨粗鬆症
		4)骨腫瘍
		5)変形性関節症
		6)腰椎症(椎間板ヘルニア・脊柱管狭窄症)
		7)関節リウマチ
		8)四肢切断
		9)ロコモティブシンドローム
		10)フレイル
		11)サルコペニア
	3. 運動器系の検査・治療・処置	1)検査
		(1)画像検査(レントゲン・MRI・CT)
		(2)画像検査(脊髄造影検査・関節造影検査)
		(3)徒手筋力テスト(MMT)
		(4)関節可動域(ROM)検査
		2)治療・処置
		(1)保存療法(ギプス、牽引療法)
		(2)手術療法(人工関節置換術)
		(3)義肢・装具
11～14回	4. リハビリテーション	1)リハビリテーション概論
		2)リハビリテーションの実際
		(1)運動器系の障害とリハビリテーション
		(2)中枢神経系の障害とリハビリテーション
		(3)呼吸・循環器系の障害とリハビリテーション
		(4)感覚器系の障害とリハビリテーション
評価	筆記試験	
テキスト	系統看護学講座 成人看護学[10]運動器(医学書院) 系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護(医学書院)	
備考		

科目名	講 師	西島重信	単位数	1
口腔・感覚器・女性生殖器疾病と治療		小川隆・岸田功典 山下凱・野中椋太	時間数	30

科目目的 ： 口腔・感覚器・女性生殖器系疾患とその健康障害からの回復過程を学ぶ。

科目目標 ： 口腔・感覚器・女性生殖器系の病態、検査、治療を理解できる。

講義回数	学 習 内 容	
2回	1. 口腔の代表的な 疾患・症状の病態生理	1)口腔粘膜疾患　2)口腔領域嚢胞　3)口腔領域の腫瘍 4)顎関節の疾患　5)唾液腺の疾患
	2. 口腔の検査・治療・処置	1)検査(味覚検査、唾液分泌検査、下顎運動検査、咀嚼機能検査) 2)治療・処置(舌切除術、舌再建術)
3回	3. 耳鼻・咽喉の代表的な 疾患・症状の病態生理	1)咽頭がん　2)喉頭がん　3)副鼻腔炎　4)メニエール病 5)扁桃肥大症　6)中耳炎
	4. 耳鼻・咽喉の検査・治療・処置	1)検査(味覚検査、唾液分泌検査、下顎運動検査) 2)治療・処置(咽頭・喉頭切除術、鼓膜形成術、副鼻腔手術、 放射線療法、薬物療法)
3回	5. 眼科の代表的な 疾患・症状の病態生理	1)白内障　2)緑内障　3)網膜剥離
	6. 眼科の検査・治療・処置	1)検査(眼底検査、眼圧測定、視力・視野測定) 2)治療・処置(光凝固・硝子体手術、角膜移植術、薬物療法)
3回	7. 皮膚科の代表的な 疾患・症状の病態生理	1)熱傷　2)褥瘡　3)アトピー性皮膚炎 4)症状(発疹、掻痒)
	8. 皮膚科の検査・治療・処置	1)検査 (免疫アレルギー検査、皮内反応) 2)治療・処置(アレルギー検査、植皮術、レーザー療法)
3回	9. 女性生殖器の代表的な 疾患・症状の病態生理	1)子宮の疾患(子宮がん、子宮筋腫、子宮内膜症) 2)卵管の疾患(炎症、腫瘍、卵管炎) 3)卵巣の疾患(腫瘤、腫瘍)
	10. 女性生殖器の検査・治療・処置	1)検査(病理検査、内診) 2)治療(薬物療法、放射線療法、内分泌療法) 3)処置(膣洗浄、膣タンポン)
評価	筆記試験	
テキスト	系統看護学講座　成人看護学[12]皮膚(医学書院) 系統看護学講座　成人看護学[13]眼(医学書院) 系統看護学講座　成人看護学[14]耳鼻咽喉(医学書院) 系統看護学講座　成人看護学[15]歯・口腔(医学書院) 系統看護学講座　成人看護学[9]　女性生殖器(医学書院)	
備考		

科目名	講 師	富野美紀子 他	単位数	1
麻酔と救急			時間数	15

科目目的 ： 麻酔法、救急処置における治療目的を理解し、回復過程を学ぶ。

科目目標 ： 1. 麻酔方法、麻酔薬の種類の基本を理解し、周手術期の看護に活用できる。
2. 救命のための適切な救急処置方法が理解できる。

講義回数	学 習 内 容	
3回	1. 麻酔法	1)麻酔とは 2)麻酔方法の分類 3)麻酔薬 (1)吸入麻酔　(2)静脈内麻酔　(3)局所麻酔
4回	2. 救命救急	1)救急処置について (1)心肺蘇生法 (2)外傷・熱傷時における看護 2)ICU・CCUについて
評価	筆記試験	
テキスト	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 (医学書院) 系統看護学講座 別巻 救急看護学 (医学書院)	
備考	救命救急演習	

科目名	講 師		単位数	1
臨 床 栄 養		深谷 祥子 他	時間数	15

科目目的 :栄養アセスメントに必要は基本的知識を学び、健康回復に向けた栄養について学ぶ。

科目目標 :栄養状態を評価でき、健康回復に向けた食事療法の基本を理解できる。

講義回数	学 習 内 容	
1回	1. 臨床栄養の基礎知識	1)臨床栄養の意義と目的 2)栄養アセスメント 3)多職種による栄養管理 栄養サポートチーム(NST)
2回	2. 食品成分と食事摂取基準	1)食品成分とエネルギー 2)日本人の食事摂取基準
3回	3. 日常生活と栄養	1)食文化の多様性 2)運動と栄養 3)ライフサイクル各期における栄養
4回	4. 療養生活と栄養	1)形態的分類と適応(常食 柔食 流動食など) 2)栄養成分分類(エネルギーや蛋白質、脂質コントロール食など)と 病態別治療食 3)調乳と離乳 4)検査食 5)治療食の実際(試食)
5～7回	5. 疾患別の栄養食事療法	1)消化器系疾患 2)内分泌系・代謝疾患 3)循環器系疾患 4)腎疾患
評価	筆記試験	
テキスト	ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち④ 臨床栄養学 (メディカ出版)	
備考		